

NEDO Pitch

第12回 “アグリテック系ベンチャー特集”

主 催：国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
 共 催：オープンイノベーション協議会
 備 考：「「知」の集積と活用」の場産学官連携協議会」との連携イベントとして実施
 運営支援：有限責任監査法人トーマツ
 開催日：2016年11月22日（火）
 開催場所：NEDO Incubation Center (NIC)
 ミューザ川崎 5F (NEDO 川崎本部)

プログラム：

18:00～18:10 開会、テーマ概観（最新の業界動向及びトピックの共有）
 18:10～19:50 NEDOピッチ6件

ピッチご登壇者概要	
KAKAXI, Inc	農地を定期的に撮影、記録する広角カメラや気温、湿度、日射量センサーを内蔵したIoTデバイスを開発。太陽光パネルと3Gモジュールが内蔵されているため、農地に設置するだけで簡単に作動する。一般消費者は農地の情報をPC、タブレット、スマホなどで見て、手に取ったものが安心安全な農作物であるという事を確認することができる。
ベジタリア株式会社	最新の植物科学とテクノロジーを駆使して、農業とITの融合により農業の生産性や品質向上につながる、水稻向け水管理支援システム「PaddyWatch（パディウォッチ）」、農業用環境センサ「FieldServer（フィールドサーバ）」、クラウド利用型営農支援ツール「agri-note（アグリノート）」など、農業の現場で役立つソリューションを展開。また、農業IoT・AI・ビッグデータを活用し、植物科学・植物医科学分野の知見に基づいたサービスを提供する「ベジタリア植物病院®」などの新事業を拡大し続けることで、持続可能な環境と健康社会の実現を目指す。
メビオール株式会社	ハイドロゲルメンブランを介して安全で高栄養価の農産物を生産する、世界初のフィルム農法「アイメック」を開発・販売する企業。薄いフィルムはナノサイズの高分子網目構造から出来ており、水と養分だけを通すと共に、バクテリアや細菌による汚染を防ぐ。世界100ヶ国以上で特許を取得し、食の安全性、水不足、土壌汚染の問題を解決するフィルム農法として世界から注目され、2016年9月 Falling Walls Venture 2016 でアジア地区代表に選出される。
株式会社 UniBio	UniBio は遺伝子組み換えではない、植物由来の有用タンパク質を製造できるバイオ技術を持つベンチャー企業。新潟県内化粧品企業とのコラボレーションを通じたスキンケア商品の開発・販売、再生医療分野への応用など、製品開発から販売まで幅広く手がけている。 NEDO：「平成25年度イノベーション実用化ベンチャー支援事業」にも採択される。
株式会社ヨコヤマ コーポレーション	産業用の大型ドローンが得意という特徴を活かし農業散布ドローンの開発から販売まで行う。初の農林水産航空協会の認定ドローンとして本

	<p>年から農家に既に導入済み。来年は農薬散布ドローン飛躍の年となり、今後、長時間飛行可能な産業用ドローンを展開。大企業との共同研究を通じた、ビッグデータ・AI・3D地図・GIS・物流などの分野への進出を検討。</p>
株式会社ルートレック・ネットワークス	<p>ICTによる農業変革を目指し、最新のAIやIoT技術により持続型農業に重要な要素である「かん水と施肥」の自動化を図り、環境に配慮しつつ、単位面積当たりの増収、遊休地利用の規模拡大、新規就農者の収支安定を実現する栽培システムを提供。更に栽培に関するビッグデータを蓄積・活用することで、食と農のバリューチェーンの構造改革を実現するプラットフォームを提供する。</p>

19:50~20:15 まとめ・閉会

20:15~ 名刺交換会